

様式第 19 号 (第 13 条関係)

(1) 少量危険物 貯蔵 廃止届出書
指定可燃物 取扱い

(2) 年 月 日				
(3) 消防署長 様				
届出者 (4)				
住所 _____				
氏名 _____				
電話番号 _____				
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合火災予防条例第46条第2項の規定により、(1) 少量危険物、指定可燃物の貯蔵又は取扱いの廃止について届け出ます。				
貯蔵又は取扱いの場所	所在地	(5)		
	名称	(6)		
類・品名及び最大数量	類	品名	最大貯蔵量	1日最大取扱数量
	(7)	(8)	(9)	(10)
貯蔵又は取扱方法の概要	(11)			
貯蔵又は取扱場所の位置、構造及び設置の概要	(12)			
消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要	(13)			
廃止年月日	(14)	年	月	日
廃止理由	(15)			
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 ※印の欄は、記入しないこと。

少量危険物指定可燃物貯蔵取扱い廃止届出書記入要領

項 目	記 入 内 容
(1) 届出区分	届出に係る区分以外を ― で抹消します。
(2) 年月日	届出書を提出する年月日を記入します。
(3) 宛先	届出書を提出する消防署長を記入します。(気仙沼又は南三陸)
(4) 届出者	貯蔵又は取扱いを廃止する者の住所、氏名、電話番号を記入します。(法人の場合は、法人の住所、名称、電話番号及び代表者の職、氏名を記入します。)
(5) 所在地	貯蔵又は取扱いを廃止する場所の所在地を記入します。 (例)〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
(6) 名称	貯蔵又は取扱いを廃止する場所の名称を記入します。 (例)株式会社〇〇〇〇
(7) 類	消防法別表に定められている類を記入します。 (例)第4類
(8) 品名	消防法別表に定められている品名を記入します。 (例)第2石油類(灯油)
(9) 最大貯蔵数量	貯蔵しようとする最大の数量を記入します。 (例)〇〇〇ℓ
(10) 1日最大取扱数量	1日の最大取扱数量を記入します。 (例)〇〇〇ℓ
(11) 貯蔵又は取扱方法の概要	貯蔵方法及び取扱い方法を記入します。 (例)屋外タンクで貯蔵し、貫流ボイラーへ燃料を供給する。
(12) 貯蔵又は取扱場所の位置、構造及び設置の概要	別添資料参照と記入し、凶面等を添付します。 (例)付近見取図、配置図、平面図、貯蔵又は取扱場所の平面詳細図 等
(13) 消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要	設置している消防用設備等の種類及び数量を記入します (例)粉末消火器(10型)1本
(14) 廃止年月日	貯蔵取扱いの廃止年月日を記入します。
(15) 廃止理由	貯蔵取扱いを廃止する理由を記入します。